

# No. 1353

1979年

## 総集編

激動の1979年を暗示するかのように、めずらしく1月、東京に雪が降った。この日、国公立大学の志願者を対象にした初の共通一次学力試験が行なわれた。不幸なトップニュースは大阪の三菱銀行、獵銃、人質事件。犯人梅川昭美は警官、行員4人を射殺。この事件以後、金融強盗が続発した。

スポーツ界を社会問題にまで引きこんご江川。一番損したのは巨人、内部分裂を起し、5位に転落。広島は球団創立30年目で日本一に輝やいた。

航空機売り込みをめぐる日商岩井不正事件で事件のカギを握る人物の一人、島田常務は自殺。しかし、海部副社長逮捕によって事件の全容を解明。F4Eファントム売り込み報酬として5億円が松野頼三、元防衛長官に渡ったことが判明。松野氏は国会で「5億円は政治献金」と弁明したが総選手で落選した。

昨年登場したインベーダーゲームは爆発的ブームとなった。弱いドル、強い円。経済大国日本への風当たりは強くなるばかり。日米首脳会談の主なテーマは経済問題という異例のものとなった。

また12月の大平首相訪中では西側先進国のトップを切って、对中国への円借款供与など合意した。

今年最大のイベントは東京サミット。日本、アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、カナダの7ヶ国と欧州共同体首脳がアジアではじめて一堂に会し、石油、南北問題などを討議。

上野動物園では人気もののランランが死亡。多くの悲しみを誘った。党利党略、疑惑かくし、争点かくしなど批判を浴びながら9月7日、衆議院は解散。自民党は有利と言われながらも、鉄建公团やKDDなど、役人の不正が次々と発覚結党以来の惨敗となった。首相の責任をめぐり、党内抗争が激化。首相指名選挙に候補を一本化できない異例の事態となった。

かろうじて福田氏を破ったものの、多難な第二次大平内閣となった。来年は猿年。内外の難問が去るかどうか。